

○上映会と展覧会

会名:短編ドキュメンタリー映画「堀部安嗣 建築の鼓動」上映会と堀部安嗣展
会期:2018年3月15日(木)～3月18日(日)13:00～17:00(最終日16:00まで)
会場:静岡文化芸術大学 西棟1階 ギャラリー(浜松市中区中央2丁目1番1号)
入場無料
アクセス:<http://www.suac.ac.jp/access.html>
JR「浜松」駅北口より徒歩15分。遠州鉄道「遠州病院」駅より徒歩8分。
来場者用の駐車場がありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

○上映会と座談会

会名:映画上映と堀部安嗣さんを囲む会
日時:2018年3月16日(金)17:00～20:30
16:30 開場・受付開始
17:00～17:30 映画上映
17:30～20:00 堀部さんの講演と座談会(各1時間程度)
20:00～20:30 本の販売とサイン会
会場:静岡文化芸術大学 東棟1階 総合演習室
会費:一般1500円、建築士会々員1000円、学生500円(ドリンク付)
定員:80名(要予約、申込先着順)

申込方法:メールのタイトルを「文芸大で映画」とし、(1)お名前、お仕事(学生の方はその旨)(2)人数(一般、会員、学生を明記)(3)メールアドレス(4)堀部さんへのメッセージや座談会で聞きたいことをご記入の上、seibu-b@shizu-shikai.com(静岡県建築士会西部ブロック事務局)までお申し込みください。結果は10日以内にメールでお知らせします。
申込受付開始日:2018年2月17日(土)10:00～(定員になり次第終了)
問合せ先:seibu-b@shizu-shikai.com 静岡県建築士会西部ブロック事務局

○主催など

主催:公益社団法人 静岡県建築士会 西部ブロック
共催:公立大学法人 静岡文化芸術大学
協力:せとうちクルーズ、せとうちホールディングス、竹林寺、常石造船、テレビマンユニオン、TOTOギャラリー・間、パティスリー エ カフェ イヴェールボスケ、堀部安嗣建築設計事務所、木村幸央、松田精
企画協力:森オフィス

映画制作:テレビマンユニオン(ディレクター/菅原康洋、カメラマン/伊藤加菜子、プロデューサー/杉本友昭、五鬼助洋美)
*この映画は、2017年に開かれた「堀部安嗣展 建築の居場所」(TOTOギャラリー・間)のために制作されました。

○概要

建築家として26歳で独立した堀部さんは、これまで20余年にわたり、住宅を中心として、90を超える作品を手掛けてきました。その建築は、時として近寄りたがたい厳格なプロポーションを持ちながらも、ひとたびその空間に身をゆだねると、「絶妙なスケール感覚」、「居心地が良い」、「懐かしい感覚を覚える」などといった、親しみのある言葉で表現されることがしばしばです。そんな堀部さんの初期作から新作までを紐解くTOTOギャラリー・間での「堀部安嗣展 建築の居場所」から、約一年が経ちました。会場で上映された、14の建築作品と、そこに流れる静かな時間を切り取った短編ドキュメンタリー映画「堀部安嗣 建築の鼓動」は、全国各地で上映が続き、静かな感動が広がっています。堀部さんが幼少期から思春期までを過ごしたここ浜松でも上映会を行うことになりました。会場にはTOTOギャラリー・間での

展示作品に加え、堀部さんから浜松へ贈る言葉や、最新作・客船「guntu(ガンツウ)」の企画から就航までを追った映像も並ぶ予定です。3月16日(金)には堀部さんがお見えになりますので、講演や座談会をお楽しみください。浜松で、堀部さんは何を見て何を思い、どんな時間を過ごしていたのでしょうか。ここでしか見ることのできない「堀部安嗣の建築の世界」を体験してみませんか。ぜひお運びいただけますと幸いです。

○プロフィール

堀部安嗣(ほりべ やすし) 建築家

1967年生まれ。筑波大学卒業後、1994年に堀部安嗣建築設計事務所設立。2007年より京都造形芸術大学大学院教授。2002年第18回吉岡賞、2016年日本建築学会賞(作品)を受賞。著書に『堀部安嗣の建築 - form and imagination』(2007年、TOTO出版)、『書庫を建てる 一万冊の本を収める狭小住宅プロジェクト』(2014年、新潮社)、『堀部安嗣作品集 1994-2014 全建築と設計図集』(2015年、平凡社)、『堀部安嗣 建築を気持ちで考える』(2017年、TOTO出版)、『小さな五角形の家 全図面と設計の現場』(2017年、学芸出版社)など

<http://horibe-aa.jp>